

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																															
(新)多文化共生支援事業	1,434	0	1,434				1,434																															
トータルコスト	2,263千円（前年度：0千円）																																					
従事する職員数	正職員：0.10人																																					
主な業務内容	関係機関の連絡調整会議の共同開催、補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等事業内容の説明																																					
<p>1 事業の概要</p> <p>県内に在住する外国人の増加に対応し、在住外国人も地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会を実現するために、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) 事業費</p> <p>補助金 1,434千円（全体事業費2,868千円、県補助率1/2）</p> <p>(2) 事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>全体事業費</th> <th>予算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(新)県内在住外国人へのアンケート調査</td> <td>86</td> <td rowspan="8">補 助 率 1 / 2</td> <td>在住外国人が必要としている支援内容を把握するためにアンケート調査を実施する。</td> </tr> <tr> <td>関係機関研修会及び連絡調整会議</td> <td>167</td> <td>各種相談機関の連携強化と多文化共生に関する意識啓発のために会議及び研修会を開催する。</td> </tr> <tr> <td>医療通訳ボランティア養成講座</td> <td>1,215</td> <td>医療分野における専門的な通訳ボランティアを養成するための講座を開催する。</td> </tr> <tr> <td>医療通訳ボランティア派遣事業</td> <td>447</td> <td>医療通訳ボランティア登録者を依頼に応じて派遣する。</td> </tr> <tr> <td>(新)医療通訳ボランティア・フォローアップ講座</td> <td>433</td> <td>医療通訳ボランティア登録者の更なる資質向上のためにフォローアップ講座を開催する。</td> </tr> <tr> <td>(新)「国際交流フェスティバル」の支援</td> <td>441</td> <td>県民と在住外国人との異文化理解の促進のため、県内3地区で開催される民間団体主催の国際交流フェスティバルへの財政的支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>多文化共生出前講座</td> <td>79</td> <td>民間団体等が実施する会議等に講師を派遣し、多文化共生の意識啓発に係る講座を開催する。</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,868</td> <td>1,434</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	全体事業費	予算額	内 容	(新)県内在住外国人へのアンケート調査	86	補 助 率 1 / 2	在住外国人が必要としている支援内容を把握するためにアンケート調査を実施する。	関係機関研修会及び連絡調整会議	167	各種相談機関の連携強化と多文化共生に関する意識啓発のために会議及び研修会を開催する。	医療通訳ボランティア養成講座	1,215	医療分野における専門的な通訳ボランティアを養成するための講座を開催する。	医療通訳ボランティア派遣事業	447	医療通訳ボランティア登録者を依頼に応じて派遣する。	(新)医療通訳ボランティア・フォローアップ講座	433	医療通訳ボランティア登録者の更なる資質向上のためにフォローアップ講座を開催する。	(新)「国際交流フェスティバル」の支援	441	県民と在住外国人との異文化理解の促進のため、県内3地区で開催される民間団体主催の国際交流フェスティバルへの財政的支援を行う。	多文化共生出前講座	79	民間団体等が実施する会議等に講師を派遣し、多文化共生の意識啓発に係る講座を開催する。	合 計	2,868	1,434	
区 分	全体事業費	予算額	内 容																																			
(新)県内在住外国人へのアンケート調査	86	補 助 率 1 / 2	在住外国人が必要としている支援内容を把握するためにアンケート調査を実施する。																																			
関係機関研修会及び連絡調整会議	167		各種相談機関の連携強化と多文化共生に関する意識啓発のために会議及び研修会を開催する。																																			
医療通訳ボランティア養成講座	1,215		医療分野における専門的な通訳ボランティアを養成するための講座を開催する。																																			
医療通訳ボランティア派遣事業	447		医療通訳ボランティア登録者を依頼に応じて派遣する。																																			
(新)医療通訳ボランティア・フォローアップ講座	433		医療通訳ボランティア登録者の更なる資質向上のためにフォローアップ講座を開催する。																																			
(新)「国際交流フェスティバル」の支援	441		県民と在住外国人との異文化理解の促進のため、県内3地区で開催される民間団体主催の国際交流フェスティバルへの財政的支援を行う。																																			
多文化共生出前講座	79		民間団体等が実施する会議等に講師を派遣し、多文化共生の意識啓発に係る講座を開催する。																																			
合 計	2,868		1,434																																			

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

3目 図書館費

図書館（電話：0857-26-8155）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	財産収入	その他	一般財源	
(新) 環日本海交流室開室15周年記念事業	634	0	634		25		609	
トータルコスト	1,463千円（前年度：0千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	ロシアおよび環日本海諸国関係の資料・情報提供 冊子「環日本海交流のあゆみ」（講演記録集）の刊行 15周年記念講演会等							

事業内容の説明

1 事業の概要

環日本海諸国（特にロシア）に対する県民の興味関心を高め、貨客船を利用した交流へつなげる基盤作りを行う。また、今まで開催した講演会・講座の内容を冊子にまとめ、県内図書館・学校へ配布し、環日本海諸国、地域の文化・歴史等に関する相互理解を深める。

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
ロシアおよび環日本海諸国関係の資料・情報提供	111	①観光パンフレット、旅行ガイドブックの収集、展示。 ②県民にロシア（ウラジオストク）をはじめとする環日本海地域をパネル紹介。
冊子「環日本海交流のあゆみ」（講演記録集）の刊行	456	①平成14年度から開催している環日本海交流文化講演会及び連続講座の記録をまとめ、冊子として刊行、県内の図書館、県立学校等へ配布。
15周年記念講演会	67	今までの活動を総括し、さらに交流を深める助けとすることを目的とする講演会を開催する。 ①講演Ⅰ：『新しい環日本海交流 ～民間交流を中心にして～』 講師：名古屋大学大学院教授 池内 敏（いけうち さとし）氏 講演Ⅱ：「鳥取県の進める環日本海交流」 講師：鳥取県知事 平井伸治 ②報告：『環日本海交流室15周年の歩み－総括と展望－』 報告者：県立図書館の専門職員

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	47,305	48,386	△1,081				47,305	
トータルコスト	51,448千円（前年度：54,475千円）							
従事する職員数	正職員：0.50人							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
事業内容の説明	<p>1 事業の概要</p> <p>地域の国際化を推進するため、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成する。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) 事業費</p> <p>補助金 47,305千円</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>①（拡充）米子事務所の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地域における在住外国人支援や民間国際交流活動支援に対する取り組みの強化のため、米子事務所にグループリーダーを配置し、土日も開所するとともに、米子事務所に交流スペースを設置し、在住外国人向けの日本語ボランティア等に開放する。 <p>②（拡充）ホームページの運営及びメールマガジンの配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語版のメールマガジンを災害等緊急時に利用しやすい携帯電話向けのものに切り替える。 <p>③（拡充）在住外国人のための日本語クラスの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来県間もなく日本語がほとんど話せない方を対象としたクラスを新設する。 <p>④子どものための異文化理解講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中の3日間、小学生を対象に多言語によるゲーム、音楽、料理など楽しい活動を組み入れながら異文化を理解するための体験講座を開催する。 <p>⑤ホームステイ活性化プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイ受入講座を開催するとともに、ボランティア活動保健加入に係る経費を助成する。 <p>⑥在住外国人を対象とした相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流コーディネーター（英語、中国語を母国語とする外国人スタッフ）を配置し、在住外国人を対象に母国語による相談業務を行う。 など 							

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7 1 2 2）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア沿海地方交流推進事業	1,557	1,836	△ 279				1,557	
トータルコスト	6, 5 2 8 千円 （前年度：3, 7 3 9 千円）							
従事する職員数	正職員：0. 6 0 人							
主な業務内容	ロシア沿海地方との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体への支援、来県者への随行、通訳等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
ロシア沿海地方との交流を推進するため、スポーツ芸術等を通じた交流及び県民向けのロシアに関する研修事業を実施するための経費								
2 平成 2 1 年度事業費								
(1) 事業費 1, 5 5 7 千円								
(2) 事業内容								
① 青少年交流団（剣道、バドミントン、サッカー等）の派遣								
ア 時期 8 月ごろ 1 週間程度（予定）								
イ 交流団 選手等 1 2 名								
ウ 内容 青少年交流、意見交換会、視察等								
② 「ロシアまるわかり講座」の実施								
ア 時期 月 1 回程度（計 3 回予定）								
イ 内容 ロシア語会話、経済状況、食文化、マナー等の講座を実施予定								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「話してみよう韓国語」 鳥取大会開催事業	1,480	920	560				1,480	
トータルコスト	2,309千円（前年度：3,204千円）							
従事する職員数	正職員：0.10人							
主な業務内容	韓国文化院との調整、広報、大会準備及び運営等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>国際理解の推進に高い効果がある外国語学習を支援するため、本県との交流が活発な韓国に関心のある韓国語学習者に参加を広く呼びかけ、韓国ドラマの一場面の台詞をアレンジして韓国語で発表するなどの工夫を凝らしたコンテストを韓国文化院と共催で開催する。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) 事業費 1,480千円</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>「話してみよう韓国語」鳥取大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 平成21年12月頃 ・開催場所 県内 								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環日本海図書館交流事業	12,157	11,742	415			諸収入 36	12,121	
トータルコスト	17,128千円（前年度：15,965千円）							
従事する職員数	正職員：0.6人、非常勤職員：2.00人							
主な業務内容	環日本海交流関係各事業の実施、環日本海交流室カウンターにおける利用者対応等							

事業内容の説明

1 事業の概要

環日本海諸国（韓国・中国・ロシア）の原書やその地域について記述された日本語図書の収集・提供を行なうとともに、「図書交換等に関する協定」を具体化するための様々な事業を行い、鳥取県（県民）と環日本海諸国との交流を促進する。また、多文化サービスの提供・充実に努める。

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
環日本海諸国との図書交換	871	○韓国、中国、ロシアの3図書館とそれぞれ年60冊程度交換
環日本海交流室の図書整備	3,747	○図書500冊、雑誌30種、新聞9種購入、資料調査、研修等
環日本海交流室担当職員の配置	6,795	○担当職員2名配置
環日本海交流室連続講座等の開催	624	○連続講座を県内2箇所各3回
環日本海交流実施校への語学・歴史・文化等学習支援	120	○翻訳絵本の読み聞かせ等

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館（電話：0857-26-8042）

4目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館交流事業	951	724	227				951	
トータルコスト	2,608千円（前年度：1,816千円）							
従事する職員数	正職員：0.20人							
主な業務内容	訪問、受入、書籍購入、連絡調整							

事業内容の説明

1 事業の概要

中国、韓国の博物館（河北省博物館、国立春川博物館）との交流や情報交換等を行う。

2 事業の内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
中国河北省博物館との交流	487	・河北省博物館訪問団の受け入れ（6名） ・情報交換 等
韓国江原道国立春川博物館との交流	464	・国立春川博物館の訪問（3名） ・情報交換 等

3 所要経費

951千円（派遣旅費、事務費等）

平成21年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障害福祉課（内線：7157）

12目 障害者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
地域生活支援事業 （情報支援等事業）	30,664	26,975	3,689	15,290			15,374	
トータルコスト	32,321千円（前年度29,563千円）							
従事する職員数	正職員：0.2人							
主な業務内容	契約業務、受託者・市町村との連絡調整等							

説明

1 事業の目的

在宅身体障害者の社会生活能力の向上、コミュニケーション手段の確保を図る。

2 事業の内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容	補助率
【新規】 接客のための手話研修	218	接客業者を対象として挨拶や接客に必要な手話の研修を行う。	国1/2 県1/2
点字・声の広報等発行事業	2,640	鳥取県の発行する公報誌の点字翻訳版の発行、録音テープの収録を行い、県内の重度視覚障害者に無料配付する。	
点字による即時情報ネットワーク事業	1,562	新聞等による情報を点訳し、視覚障害者に提供する。	
手話通訳者等養成研修事業	7,489	手話通訳者（奉仕員）、要約筆記奉仕員の養成研修を行う。	
【拡充】 手話通訳者設置事業	17,303	団体派遣業務、人材育成等を行うため、手話通訳者を設置する。	単県
字幕入りビデオカセット ライブラリー事業	1,372	聴覚障害者の知識や教養の向上のため、字幕入りビデオを制作し、貸出しを行う。	
標準事務費	80	点字印刷用紙の購入費	
合計	30,664		

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

障害福祉課 (内線 : 7 1 5 7)

2 目 身体障害者福祉費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
地域生活支援事業 (聴覚障害者相談員 設置事業)	15,453	13,199	2,254	7,726			7,727	
トータルコスト	17,110千円 (前年度14,189千円)							
従事する職員数	正職員 : 0.2人							
主な業務内容	委託契約業務、委託事業者との連絡調整、その他事業進行管理業務							

説 明

1 事業の目的

聴覚障害のある方は、コミュニケーション障害のため、直接既存相談機関等を利用することが困難な状況にあることから、来訪による相談受付のほか、面接・訪問等の必要な聴覚障害のある方の相談を行う「聴覚障害者相談員」を配置し、聴覚障害者の相談支援の充実を図る。

2 事業の内容

県内全域に聴覚障害者相談員を配置する。なお、平成17年度から19年度まで県西部圏域にモデル的设置をしており、平成20年度から県内全圏域に設置したところであるが、相談件数の増加に対応するため、委託料を増額し更なる充実を図る。

圏域	委 託 先	人 役
東部	鳥取県ろうあ団体連合会	1.0人役
中部	NPO法人コミュニケーション支援センターふくろう	0.8人役 (対前年度+0.2人役)
西部	NPO法人コミュニケーション支援センターふくろう	1.0人役